

ドライバー系

誘導サイン(市街地幹線道路沿道設置タイプ):F型



大きさ

H : 7,100, W : 3,800 (支柱中心～板面端部), D : 272 (支柱径)
表示板設置最低限度 H : 5,500
板面のサイズはH : 1,600, W : 2,800を基本とする。(3施設までの表示)
※上図は文字等が二列になる場合、2施設分の表示板を使用している。

仕様概要

素材 : スチール
支柱、梁材 : 溶融亜鉛メッキ塗装
裏面 : 合成樹脂焼付塗装 (ダークグレー)

ドライバー系

誘導サイン：I型(歩行者系兼用)



大きさ

H : 6,600, W : 600, D : 230 (支柱径)
表示板設置最低限度 H : 3,000程度
板面のサイズはH : 3,600, W : 600を基本とする。(1施設までの表示)

仕様概要

素材 : スチール
支柱 : 溶融亜鉛メッキ塗装
裏面 : 合成樹脂焼付塗装 (ダークグレー)

■ 誘導サイン（ドライバー系）設置シミュレーションイメージ【国道沿道設置タイプ】



■ 誘導サイン（ドライバー系）設置シミュレーションイメージ【市街地幹線道路沿道設置タイプ】



※ガイドラインに基づき作成したサインデザインイメージを基に合成したシミュレーション画像であり、実際の整備を示すものではありません。

■ 誘導サイン（ドライバー系）設置シミュレーションイメージ【市街地幹線道路沿道設置タイプ】



■ 誘導サイン（ドライバー系）設置シミュレーションイメージ【I型（歩行者兼用）タイプ】



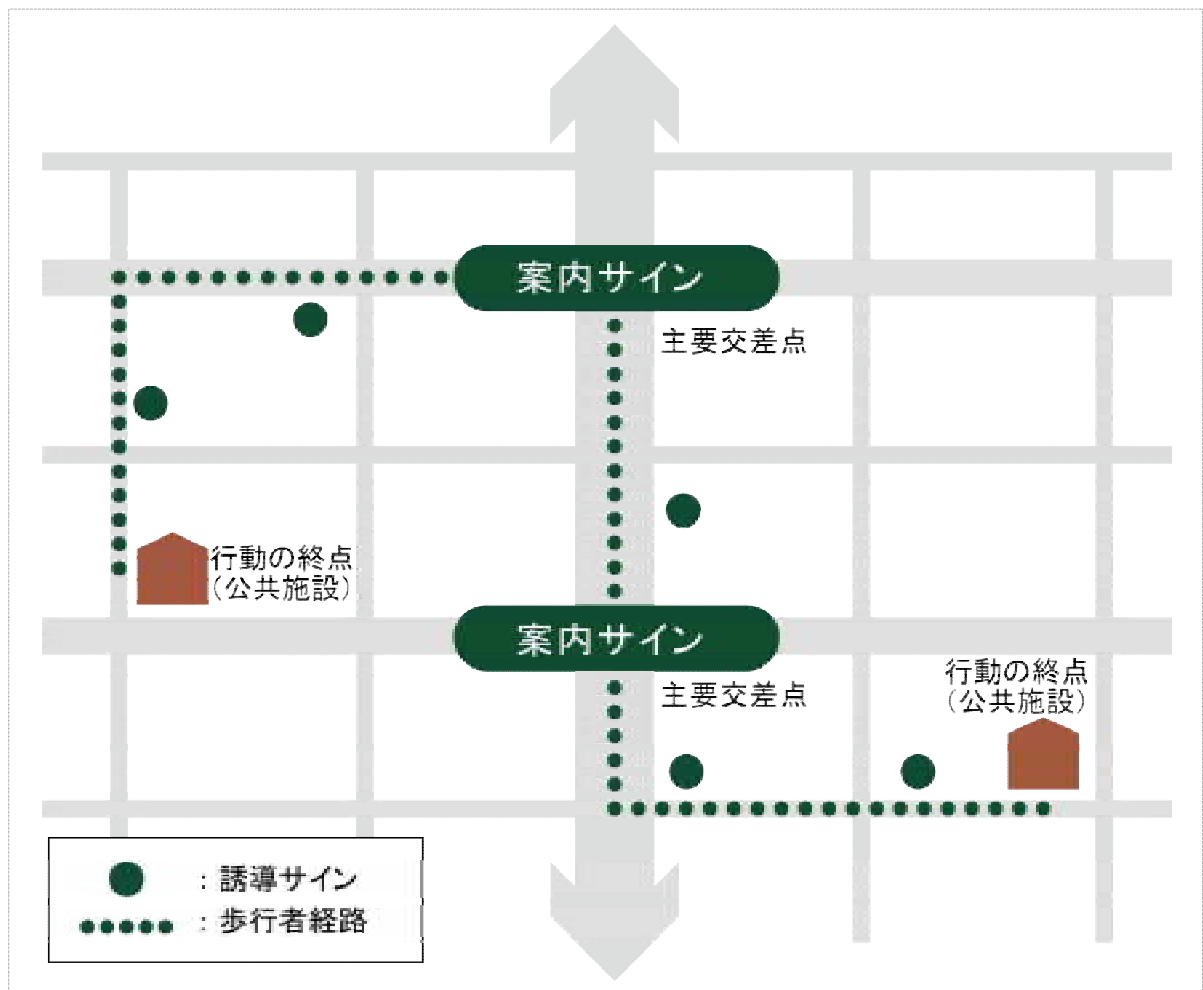
※ガイドラインに基づき作成したサインデザインイメージを基に合成したシミュレーション画像であり、実際の整備を示すものではありません。

1-3 歩行者系サインに関する基準

(1) 配置基準

- 広範囲の地図による展望的な情報を提供し、目的地に近づくにつれて情報を絞り込む階層配置とする。
- 広域交通結節点など、徒歩による行動の起点を設定する。
- 行動の起点から対象施設までの経路を特定し、設置基準に基づき連続的に誘導する。
- 歩行者が立ち止まって利用するため、基本的に歩車道分離のある道路の歩道上や広場等に設置する。

■ 歩行者系案内誘導の概念図



(2) 設置基準

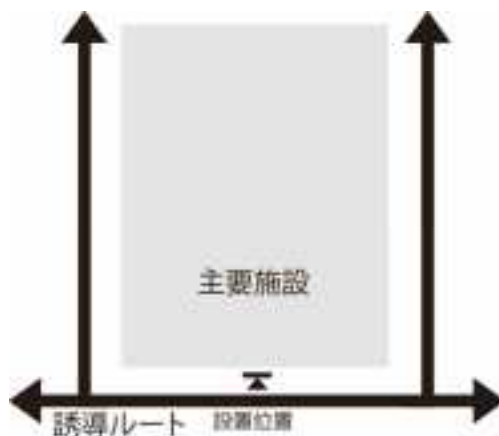
1) 案内サイン

- ・原則として、広域交通結節点や公共施設など動線の結節点等に配置する。
- ・特に多くの人が行き通る場所においては、通行の支障とならないよう配置する。
- ・既設の交通標識の視認性を阻害したり、地下埋設物と干渉したりしないよう、道路管理者等関係機関と十分協議の上、具体的、効果的な設置場所を選定する。
- ・道路上に配置する場合は、歩車道境界線寄りと敷地境界線寄りのうち、その設置場所周辺の状況等を考慮しながら、視認性を損なわないようにする。
- ・案内サインを、視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）のある歩道上に設置する場合、サインの設置方向は、視覚障害者の邪魔にならないように、進行方向に対し平行に設置することを基本とする。

■設置の具体例

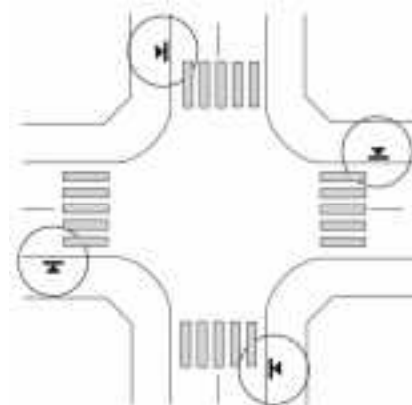
【高速バスなどの広域交通結節点に設置する場合】

- ・高速バスの発着所等を中心に主要公共施設や観光資源等を案内する。



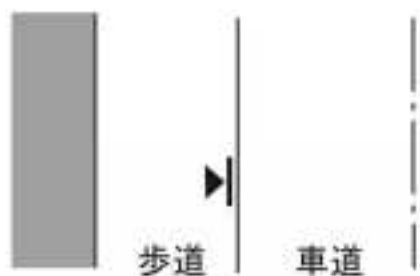
【交差点に設置する場合】

- ・交通の支障にならない範囲内で、できる限り交差点に近い位置に配置することが望ましい。



【歩道のある広幅員道路に設置する場合】

- ・歩道上の歩車道境界線寄りを基本



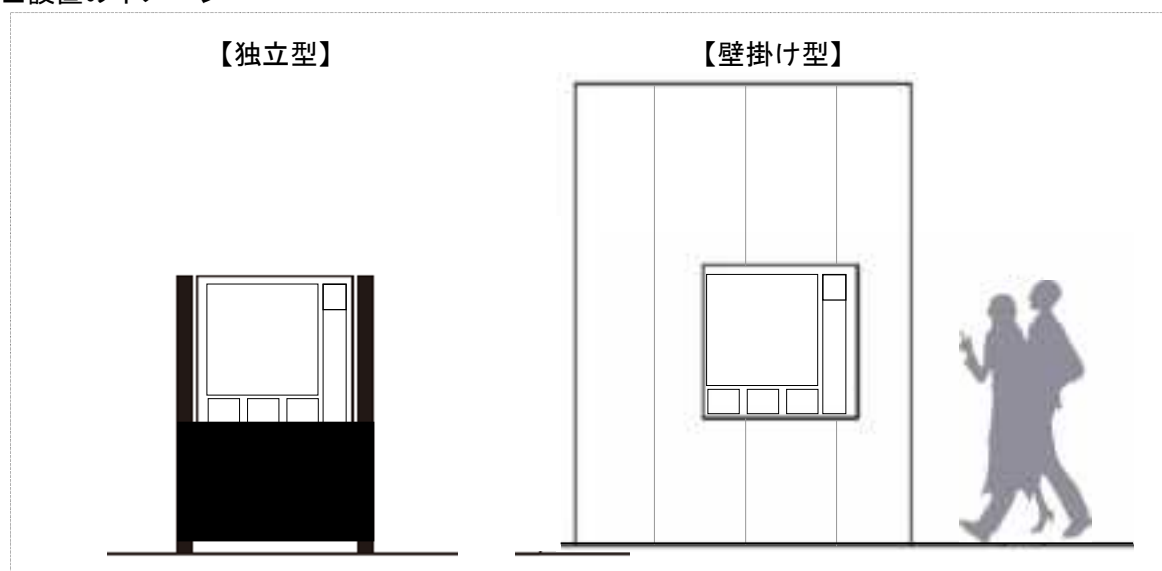
【歩道のない道路に設置する場合】

- ・道路の敷地境界線寄りを基本



- ・案内サインは原則として独立板型の施設とする。ただし、設置場所の状況等により設置が困難な場合は、壁掛け型等の案内サインを用いる。
- ・車いす使用者が地図面に接近して利用しやすいよう、地図面下方のゆとりやすき間を取るなど配慮する。

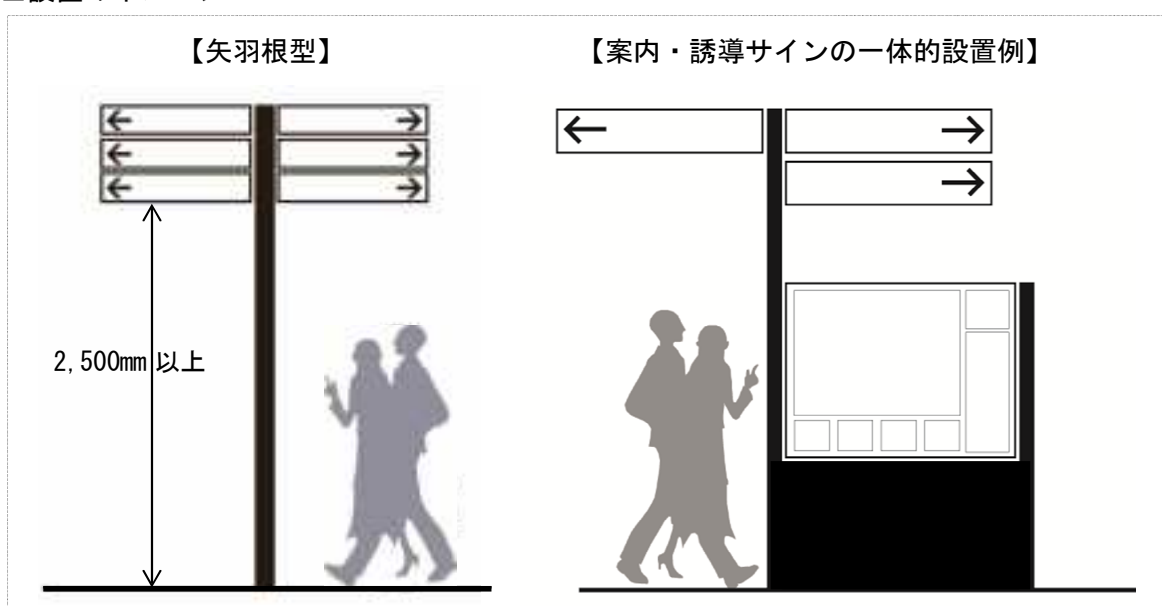
■設置のイメージ



2) 歩行者系誘導サイン

- ・歩道幅員の広い場所や交差点が広い場所では、視認性の高い矢羽根型を原則とする。
- ・表示板の設置高さ（路面から矢羽根表示板の下端までの高さ）の最低限度は、2,500 mmとする。
- ・設置にあたっては、ドライバー系サインを優先し、重複設置を避ける。

■設置のイメージ



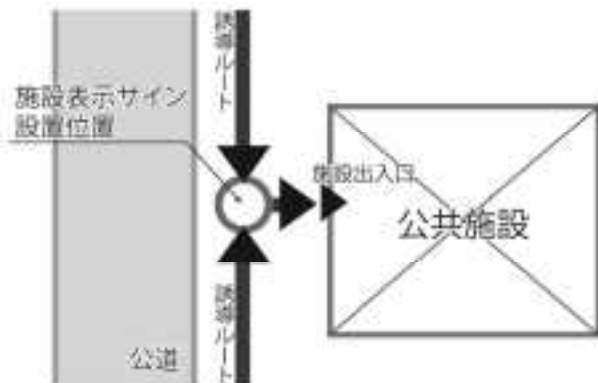
3) 位置サイン

- ・誘導する公共施設の名称を当該施設敷地内に表示する。
- ・施設利用者が施設の名称を確認しつつ、主要な出入口の位置も同時に確認できるよう、できる限り施設の出入口に近接して配置する。
- ・既設の交通標識の視認性を阻害したり、地下埋設物と干渉したりしないよう、道路管理者等関係機関と十分協議の上、具体的、効果的な設置場所を選定する。
- ・位置サインのデザインについては、視認性を高めるため縦型を原則とする。ただし、縦型位置サインを設置することが困難な場合は、必要に応じて建物に付帯して設置する。
- ・建物に付帯する横型位置サインの場合、比較的突き出し幅が大きくなると考えられることから、歩行者等への安全性確保に十分配慮する。
- ・上記のようなデザインが困難な場合や、位置サインを設置する施設のデザイン及び周辺景観との調和を図る必要がある場合などにおいては、適宜ふさわしいデザインを検討するものとする。

■設置の具体例

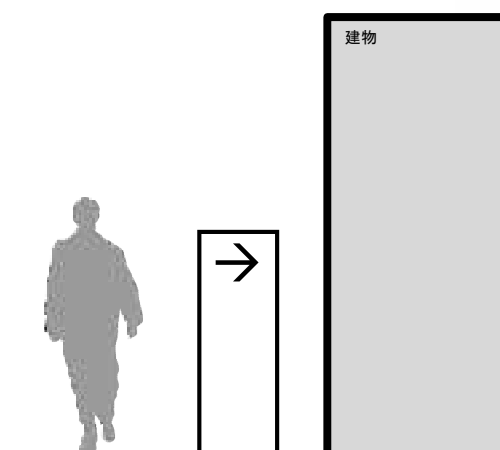
【施設の出入り口付近に配置する】

- ・最終目的地として施設名とともに、主要な出入口も確認できるような位置に配置する。

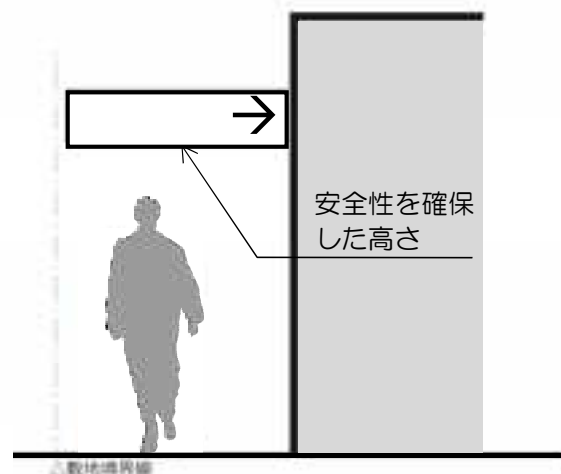


■設置のイメージ

【縦型（独立）】



【横型（建物付帯）】



(3) デザイン方針

サイン種別に応じ、歩行者の視点に立った見やすく安全なサインとする。

- 誘導サイン、案内サイン、位置サインの種別に応じ、歩行者が施設の立地方向や位置関係等が視覚的に把握しやすいサインデザインとする。
- サイン全体でデザインの統一性を図るとともに、ベースカラー、アクセントカラーを効果的に使用することで神栖らしさを表し、民間事業者設置の看板等との差違を明確にする。
- 歩行者や車椅子利用者等の通行の妨げにならないようシンプルな形状とする。
- 衝突や自然災害による倒壊等を防止し、歩行者に対する安全性確保を図る。

(4) 各要素の基準（まとめ）とサインデザインイメージ

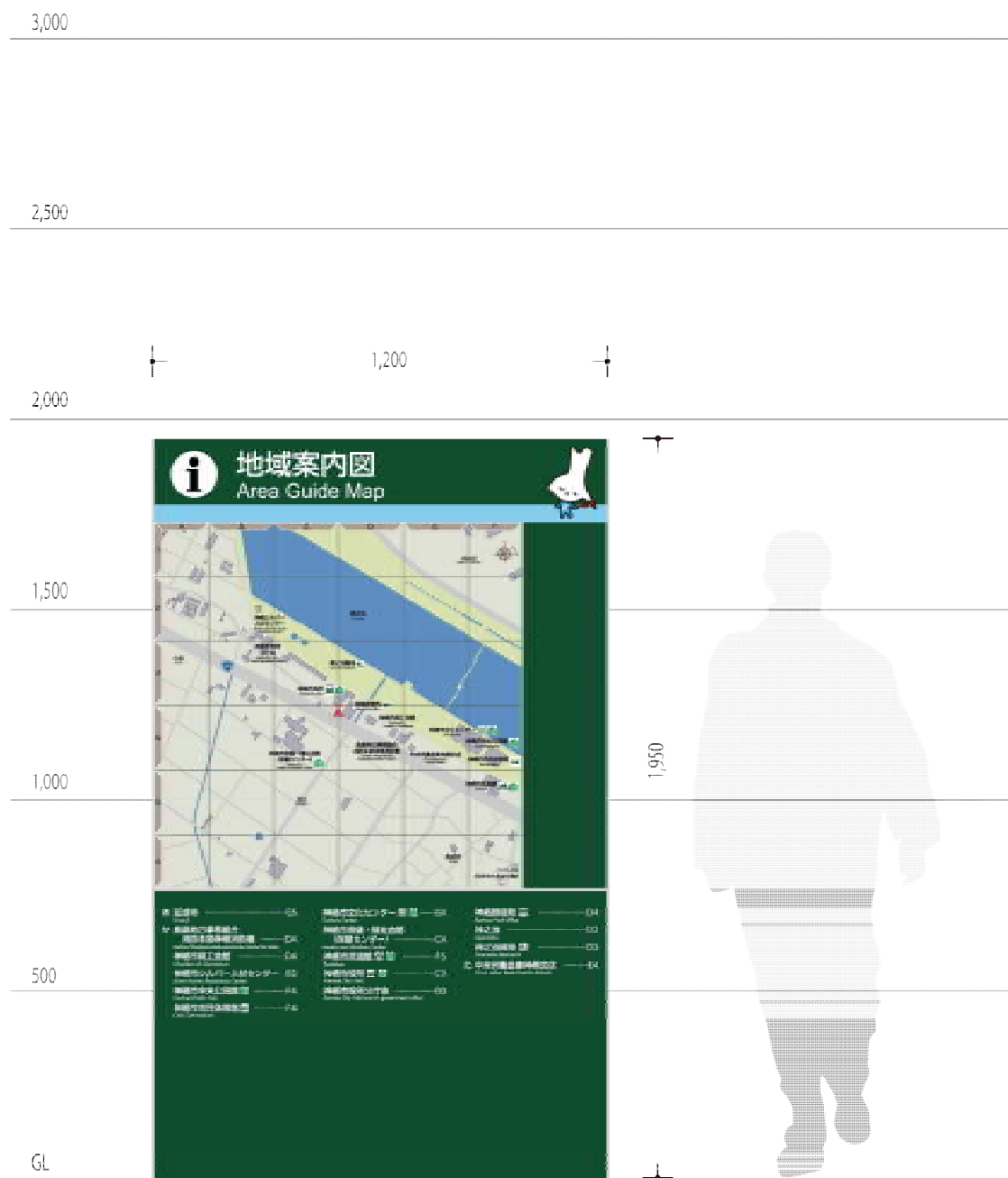
1) 案内サイン

案内サインに係る各要素のガイドラインを下表に整理して示す。

デザイン要素	ガイドライン
①書体	・和文、英文ともユニバーサルデザインに配慮した角ゴシック系を標準 ・施設の説明文など、表示内容が文章の場合は明朝系を原則
②言語表記	・原則として日本語と英語を併記 ・表示箇所に余裕のある場合やその他の言語でも表記する必要がある場合には日本語、英語に加え必要な多言語表記を検討
③ピクトグラム	・案内図中及びに図外ともに、原則として JIS（日本工業規格）案内用図記号に基づき、主要な公共公益施設及び観光施設を中心に施設のピクトグラムを表示 ・より神栖らしいサインとするため、特徴的な施設についてはオリジナルピクトグラムを作成 ・案内施設が避難場所等に指定されている場合は、該当する避難系ピクトグラムを併記
④素材	・アルミ
⑤矢印	・本ガイドラインで示す基本型
⑥板面レイアウト	・案内図をメインに配置 ・案内図下部に表記施設の座標記号付きインデックスを配置 ・必要に応じ案内図右側に案内図内に立地する史跡名勝などのサインや説明文を記載
⑦色彩	・表示面：ベースカラー【深緑系】、アクセントカラー【水色系】 ・裏面：原則ダークグレー ※背面が直接見える場合においては、案内サインの立地が認識できるようにインフォメーションマークおよび市名等を記載
⑦地図	<総合案内サイン（歩行者系）> ・表示範囲：神栖市全域 ・表示面寸法：H：960 mm×W：960 mm ・縮尺：1／25,000 程度 ・方位：常に北上位 <地域案内図> ・表示範囲：現在地を含む 1.5～2 km四方位程度の地域 ・表示面寸法：H：960 mm×W：960 mm ・縮尺：1／1,000～1／1,500 程度 ・方位：案内図に向かって前方が上 <共通> ・市境、道路、河川等水辺、公園・緑地、建物シルエット等について、視認しやすい色彩によって区分し図示 ・地図中の右上に方位、右下にスケール及び地図の作成年月日を表示 ・設置位置に現在地を日本語、英文で表示

歩行者系

案内サイン



大きさ

H : 1,950, W : 1,200, D : 74

案内図のサイズはH : 960, W : 960を基本とする。

仕様概要

素材 : アルミ押出形材

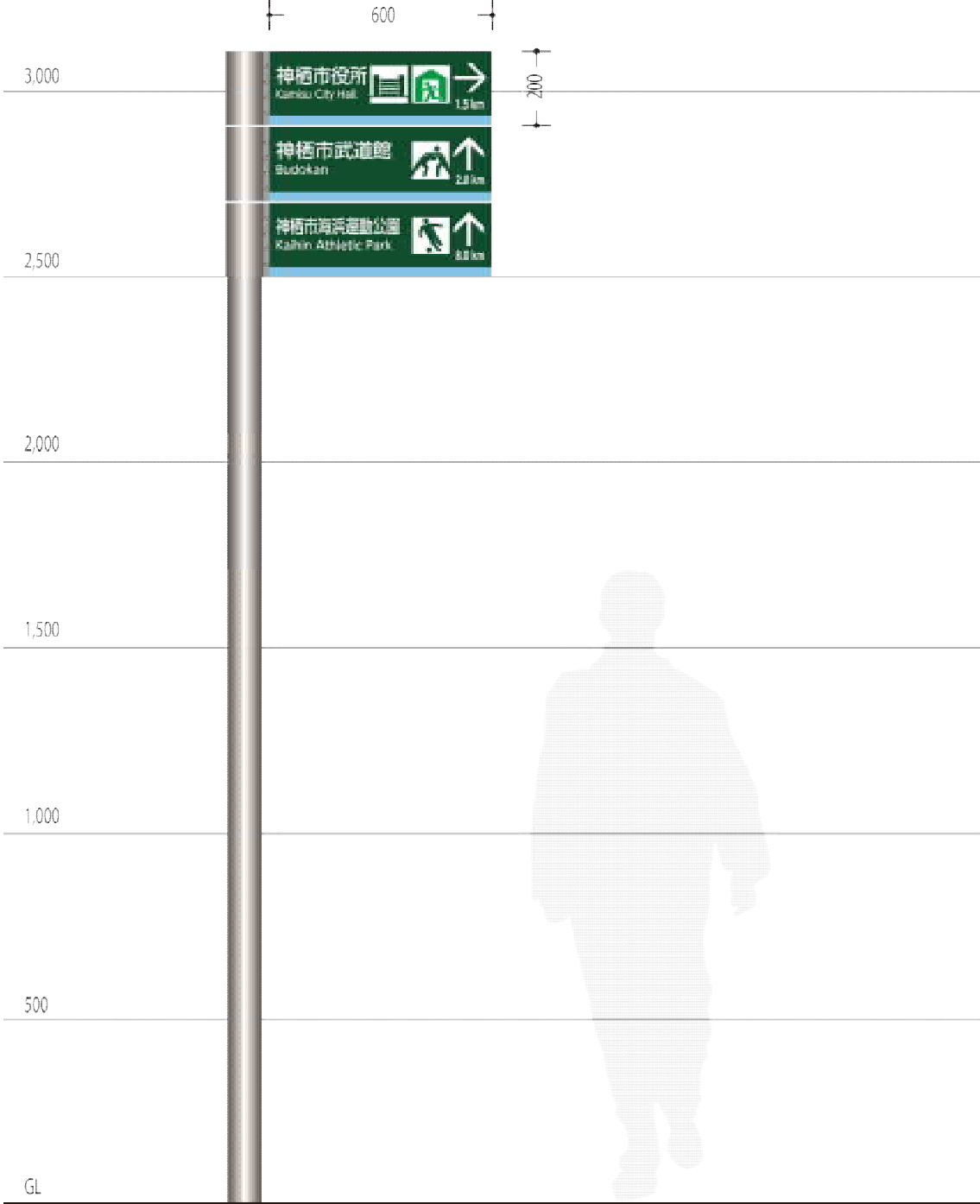
フレーム (側面、上面) : アルマイト (シルバー) クリア塗装

裏面 : 合成樹脂焼付塗装 (ダークグレー)

2) 歩行者系誘導サイン

歩行者系誘導サインに係る各要素のガイドラインを下表に整理して示す。

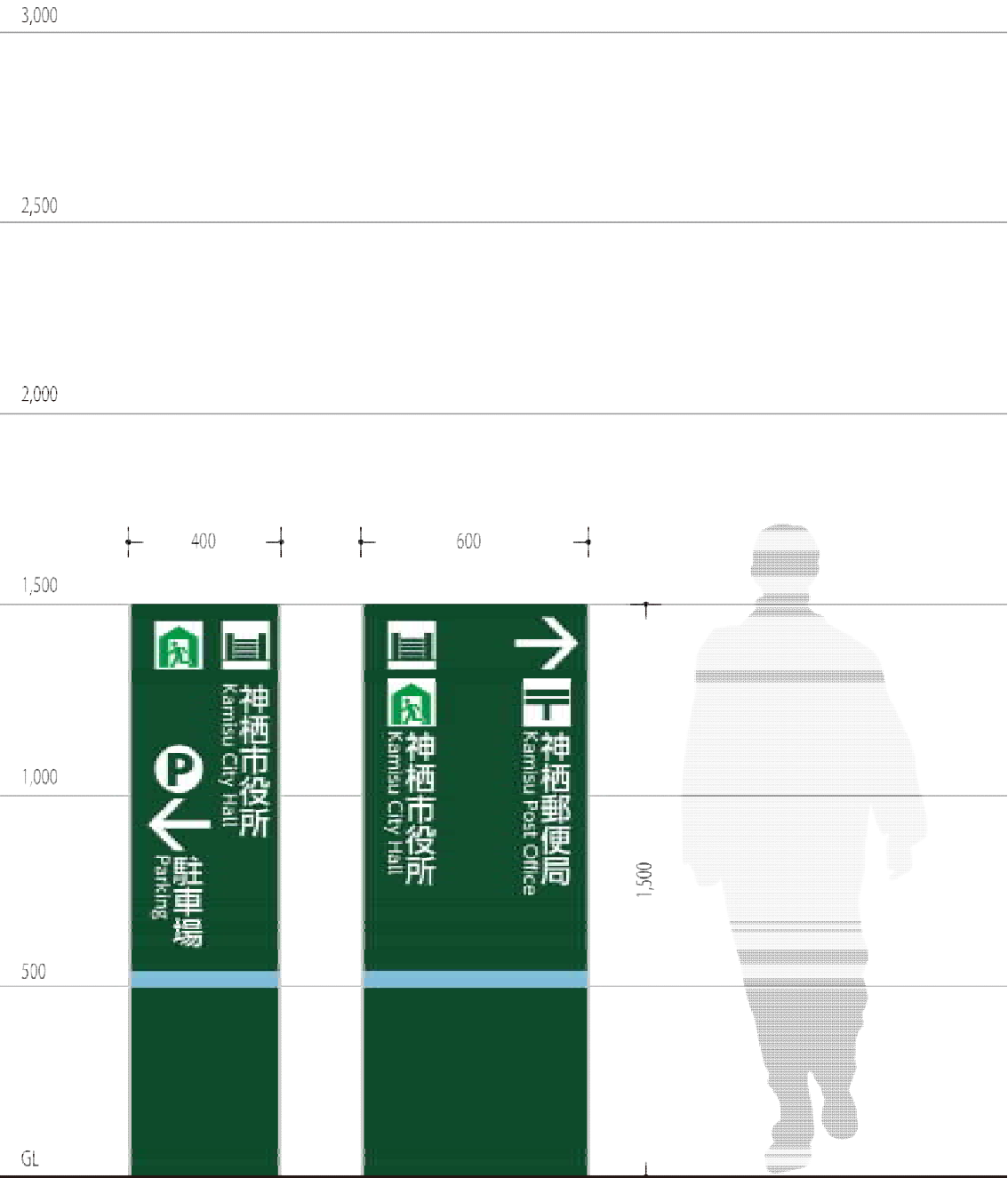
デザイン要素	ガイドライン
①書 体	・和文、英文ともユニバーサルデザインに配慮した角ゴシック系を標準
②言語表記	・原則として日本語と英語を併記
③ピクトグラム	・原則として JIS（日本工業規格）案内用図記号に基づき、案内施設のピクトグラムを表示 ・より神栖らしいサインとするため、特徴的な施設についてはオリジナルピクトグラムを作成 ・案内施設が避難場所等に指定されている場合は、該当する避難系ピクトグラムを併記することが望ましい
④素 材	・アルミ
⑤矢 印	・本ガイドラインで示す基本型 ・矢印下部に案内施設あるいは目的地までの距離表示
⑥板面レイアウト・サイズ	・文字、記号関連を集約 ・施設名称の長さにより、通常の文字間隔で一列表記が困難な場合は、一定の長体をかけできる限り一列表記 ・一定の長体でも一列表記が困難な場合は、適切な区切りにより二列表記を検討（その場合誘導板を2枚分利用する）
⑦色 彩	・表示面：ベースカラー【深緑系】、アクセントカラー【水色系】 ・裏面：案内する施設が立地する場合は裏面を利用 ：案内する施設が立地しない場合はダークグレー
⑧支 柱	・形状：丸形、色：シルバー系（ドライバー系サインと統一）

歩行者系	誘導サイン
	
大きさ	H : 3,100（上図片側三枚矢羽根の場合），W : 700（支柱φ100含む），D : 100 表示板最低限度 H : 2,500 表示板1枚のサイズはH : 200，W : 600を基本とする。
仕様概要	素材：アルミ押出形材 支柱・フレーム：アルマイト（シルバー）クリア塗装

3) 位置サイン

位置サインに係る各要素のガイドラインを下表に整理して示す。

デザイン要素	ガイドライン
①書体	・和文、英文ともユニバーサルデザインに配慮した角ゴシック系を標準
②言語表記	・原則として日本語と英語を併記
③ピクトグラム	・原則として JIS（日本工業規格）案内用図記号に基づき、案内施設のピクトグラムを表示 ・より神栖らしいサインとするため、特徴的な施設についてはオリジナルピクトグラムを作成 ・案内施設が避難場所等に指定されている場合は、該当する避難系ピクトグラムを併記
④素材	・アルミ
⑤矢印	・敷地内施設や隣接施設への誘導が必要な場合は記載 ・本ガイドラインで示す基本型
⑥板面レイアウト	・文字は日本語は縦書き、併記する英語は横書きの縦置き ・文字、記号関連を集約 ・施設名称の長さにより、通常の文字間隔で一行表記が困難な場合は、一定の長体をかけできる限り一行表記 ・一定の長体でも一行表記が困難な場合は、適切な区切りにより二行表記を検討
⑦色彩	・表示面：ベースカラー【深緑系】、アクセントカラー【水色系】 ・裏面：ダークグレー

歩行者系	位置サイン(I型)
	 Technical drawing of the Position Sign (I-type) for pedestrians. The sign is shown in two configurations: a 400mm wide single sign and a 600mm wide sign with a guide. The height is 1,500mm. The sign is dark green with white text and icons. The 400mm sign shows a house icon, 神栖市役所 (Kamisu City Hall), a 'P' parking symbol, and 駐車場 (Parking). The 600mm sign shows a house icon, 神栖市役所 (Kamisu City Hall), a post office icon, and 神栖郵便局 (Kamisu Post Office). A silhouette of a person is shown next to the sign for scale. The ground level is marked GL.
大きさ	H : 1,500, W : 400 (単独施設) , 600 (誘導施設あり) , D : 74
仕様概要	素材 : アルミ押出型材 フレーム (側面、上面) : アルマイト (シルバー) クリア塗装 裏面 : 合成樹脂焼付塗装 (ダークグレー)

■ 誘導サイン（歩行者系）設置シミュレーションイメージ



■ 誘導サイン（歩行者系）設置シミュレーションイメージ



※ガイドラインに基づき作成したサインデザインイメージを基に合成したシミュレーション画像であり、実際の整備を示すものではありません。

■ 誘導サイン（歩行者系）設置シミュレーションイメージ



■ 案内サイン・位置サイン（歩行者系）設置シミュレーションイメージ



※ガイドラインに基づき作成したサインデザインイメージを基に合成したシミュレーション画像であり、実際の整備を示すものではありません。